

令和5年度 第3回学校運営協議会報告書

学校名	鳥取県立米子白鳳高等学校
開催日時	令和6年1月27日 15時から16時30分
会 場	米子市淀江文化センター (さなめホール) 会議室2

(1) 学校長挨拶

新年早々に能登地方大地震があり、大変な年明けになった。コロナ第10波到来と平井知事談。学習発表会が無事に開催できた。生徒の様子を見ていただき、感想を聞き、次年度の参考としたい。

(2) 学校運営協議会議長挨拶

生徒のありようが変化し、開校時より落ち着いてきている、学校の取組(教育方針・活動方針)が生徒の形成にいい影響を与えていると感じている。

(3) 学習発表会の感想

委員 生徒が心や生き方について深く考えて発表していて感動した。生徒は静かに傾聴していたし、自分が以前関わった生徒が声をかけてくれて、丁寧な言葉で話すのを見て、生徒の成長も感じた。また、遅れてきた生徒にそっと声をかける先生もおられたので、米子白鳳高校で大切に育てられていると感じた。聞いている生徒の姿勢もよく先生方の指導が行き届いていると感じた。作品展示も保護者と生徒が会話しながらゆっくり見て回るなど、ほのぼのとした雰囲気が感じられた。発表の際に原稿を見て話をするなどしていたが、発表方法の工夫が欲しい。

委員 素晴らしい発表だった。和傘の歴史など自分の知らないこともあり、一生懸命伝統や郷土芸能に取り組む姿が素晴らしいと感じた。二部制の発表方法に特徴があってよい。

委員 大きなステージでたくさんの人の前で自分の考えや意見をまとめて話せる力が付くことは素晴らしい。また音声トラブルの際の生徒の対応が素晴らしかった。

委員 園児にとっての舞台発表の場を作っていただきありがたい。自分の思いを伝える発表は聞いている側の心に響いた。日頃の取組がうかがえる。1年間交流してみて、生徒の表情が穏やかで、園側にもいい影響が出ている。また丁寧なあいさつができしており、素敵な一面を見ることができる。今後も交流を続けていきたい。

委員 進学についての発表が、とても堂々としていて素晴らしいと感じた。来年ははじめてから参加したい。

委員 学習成果がきちんと発表されており、緊張の中にも自分の気持ちを込めていたと感じた。社会に出て中卒ではいけないとの思いを救える場所が米子白鳳高校である。

展示は社会に出たときに役立つ、思い出せる仕組みになっている。染色の説明がなかったのは残念だった。伯耆古代の丘公園の展示スペースの無料ギャラリーも活用して欲しい。

委員 発表が年々レベルアップ（取り組み、声の出し方など）している。テーマがマンネリ化しつつあるので他の総合学科の取り組みを参考にしてはどうか。リーダー的生徒、寄り添う生徒が育っているのは指導のたまもの。発表ができるのは自信につながると思われる。

委員 仕事の都合で二部から参加。米子白鳳高校は地域とのつながりで人間の基礎作りをしている。よい大人との交流で社会を知り、話をする中で自信を持ち、つながりを広げている。マンネリ化の可能性はあるが、少しずつ変化している。また、生徒と教員の一生懸命さが相まってよくなっていると感じる。

委員 傘づくりをした生徒が傘踊りをしないのは残念に思う。せっかく米子白鳳オリジナルの踊り傘ができるのでさんこ節に花を添える意味でも踊って欲しい。生徒は学習発表会で踊らないのを条件に傘づくりの授業を取ったようである。

（４） 生徒の活動について【別冊】（教頭）

マツムシソウ植栽はいつから実施しているか委員から質問があった。淀江産業技術高校の時から継続していると思われる。テーブルマナー講習会やフラワーアレンジメントは生活の中で必要な技術を積ませ、経験が生徒の自信につながることから継続事業としている。家庭では教えられないこともあり、助かるとの意見があった。

（５） 進路状況について【資料１】（教頭）

定時制「その他」については、卒業後にゆっくり進路のことを考えたり、卒業が危うい生徒が進路を決めることができなかつたりするため。また、通信制「その他」についてはアルバイト先にそのまま就職したり、お金を貯めてから進学する生徒があるため。今後も進路状況の数値については変動がある。

（６） 自己評価表(最終評価)について【資料２】（教頭）

中間評価ではすべてBとしていたが、最終評価は数値目標を達成したものがありAを２個つけた。今年度、生徒アンケートを実施し、高評価の項目が多くみられた。回答率が変わるので、来年度は満足度が下がるかもしれないが。委員からは生徒の様子が落ち着いており、学校の取組が浸透してきていると思われるので、もう少しAをつけてもいいのではないかという意見があった。

（７） 教育活動における取組の改善に向けて

特に意見はなかった。

（８） その他

学校長が今年度末で定年退職をされるとのことであいさつをされた。委員からはねぎらいの言葉があった。